

# 平成28年度 定期作況報告

(10月20日)

地方独立行政法人  
北海道立総合研究機構  
中央農業試験場

# 水稻の部

水田農業G(岩見沢市)

## I 気象概況

9月下旬:平均気温は平年より1.8℃高く、降水量は平年の39%、日照時間は平年の118%であり、高温、少雨、多照に経過した。

10月上旬:平均気温は平年より0.4℃低く、降水量は平年の109%、日照時間は平年の83%であり、寡照に経過した。

10月中旬:平均気温は平年より0.3℃低く、降水量は平年の80%、日照時間は平年の128%であり、少雨、多照に経過した。

以上、1ヶ月の平均では平均気温は平年より0.3℃高く、降水量は平年の77%、日照時間は平年の110%であり、少雨、多照に経過した。

9月下旬～10月中旬気象表

項目	9月下旬			10月上旬			10月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温(℃)	22.0	20.2	1.8	17.3	18.0	△ 0.7	15.3	15.6	△ 0.3	18.2	17.9	0.3
最低気温(℃)	11.7	10.2	1.5	7.9	8.4	△ 0.5	5.9	6.1	△ 0.2	8.5	8.2	0.3
平均気温(℃)	16.9	15.1	1.8	12.6	13.0	△ 0.4	10.5	10.8	△ 0.3	13.3	13.0	0.3
降水量(mm)	14.5	37.2	△ 22.7	45.5	41.9	3.6	31.5	39.2	△ 7.7	91.5	118.3	△ 26.8
日照時間(hr)	66.1	55.9	10.2	39.4	47.7	△ 8.3	57.0	44.4	12.6	162.5	148.0	14.5

注1) データは「アメダス岩見沢」を使用し、平年値は前10ヶ年の平均値を用いた。

注2) 表中の気温は期間内の平均を示し、降水量と日照時間は期間内の積算値を示した。

## II 作況

10月20日 平年並

事由:登熟歩合は「きらら397」が平年比で1.1ポイント低く、「ななつぼし」が平年比で1.7ポイント、「ゆめぴりか」が平年比で6.6ポイント高かったため、m<sup>2</sup>当たり登熟籾数は平年比113%、104%、109%であった。粗玄米重は66.1kg/a、63.7kg/a、63.2kg/aで、平年比104%、101%、105%であった。千粒重は平年比99%、98%、97%で、屑米歩合は平年よりそれぞれ1.5ポイント、2.0ポイント、2.1ポイント高かった。その結果、精玄米重は「きらら397」が60.6kg/a、「ななつぼし」が58.8kg/a、「ゆめぴりか」が56.6kg/aで、平年収量比は103%、98%、102%であった。3品種の平均では、精玄米重は58.8kg/aで、平年収量比は101%であった。

以上により、10月20日時点の作況は、平年並である。

注) 作況指数(収量平年比)と作柄の判定基準 (農林水産省の統計基準による)

作況指数	～90	91～94	95～98	99～101	102～105	106～
作柄	著しい不良	不良	やや不良	平年並	やや良	良

## 参考

### 9月20日 やや良

事由:8月下旬は高温であったが、9月中旬は低温に経過し、登熟は平年並に進んだ。成熟期は「きらら397」が未達で、「ななつぼし」が平年比で5日、「ゆめぴりか」が4日遅かった。一穂粒数は「きらら397」、「ななつぼし」、「ゆめぴりか」で平年比97%、93%、91%、 $\text{m}^2$ 当たり粒数は平年比114%、102%、100%であった。稔実歩合は平年よりそれぞれ4.6ポイント、5.1ポイント、4.9ポイント高く、 $\text{m}^2$ 当たり稔実粒数は平年比120%、107%、106%であった。すなわち、 $\text{m}^2$ 当たり稔実粒数は平年より多く、登熟は平年並に進んでいる。

以上により、9月20日時点の作況は、やや良である。

### 8月20日 平年並

事由:7月下旬から8月上旬までの気温は平年並に経過し、出穂期は「きらら397」、「ななつぼし」、「ゆめぴりか」でそれぞれ6日遅かった。稈長は「きらら397」、「ななつぼし」、「ゆめぴりか」で平年比101%、98%、99%、穂長は平年比96%、97%、96%、穂数は平年比118%、110%、110%であった。すなわち、稈長および穂長は平年並で、穂数は平年より多かった。

以上により、8月20日時点の作況は、平年並である。

### 7月20日 平年並

事由:6月下旬は多照に経過したが、幼穂形成期は「きらら397」が平年比で3日、「ななつぼし」、「ゆめぴりか」が1日遅かった。7月上旬は低温に経過したため、7月中旬の気温および日照時間は平年並に経過したが、止葉始は「きらら397」が未達で、「ななつぼし」、「ゆめぴりか」が平年比で3日遅かった。

7月20日において、草丈は「きらら397」、「ななつぼし」、「ゆめぴりか」で平年比89%、87%、91%であった。茎数はそれぞれ平年比113%、112%、108%であった。主稈葉数はそれぞれ平年比で0.1枚、0.1枚、0.3枚少なかった。すなわち、草丈は平年より短く、茎数は平年よりやや多く、葉数は平年並であった。

以上により、7月20日時点の作況は、平年並である。

### 6月20日 平年並

事由:5月下旬は高温、多照に経過したため、移植から活着までの日数は平年より短かった。6月上中旬は低温・寡照に経過したが、初期分けつの発生は概ね平年並であった。

6月20日において、草丈は「きらら397」、「ななつぼし」、「ゆめぴりか」で平年比93%、92%、93%であった。茎数はそれぞれ平年比104%、99%、107%であった。主稈葉数はそれぞれ平年比で0.6枚、0.6枚、0.5枚少なかった。すなわち、草丈は平年よりやや短く、茎数は平年並からやや多く、葉数は平年よりやや少なかった。

以上により、6月20日時点の作況は、平年並である。

### 5月20日 平年並

事由:播種は平年より4日早い4月14日に行った。4月4半旬は寡照に経過したため、出芽に日数を要し、出芽揃は播種後7日目であった。4月下旬から5月上旬までの気温および日照時間はほぼ平年並に経過したため、その後の生育は平年並であった。移植は平年並の5月20日に行った。

移植時の苗において、草丈は「きらら397」、「ななつぼし」、「ゆめぴりか」で平年比98%、99%、100%であった。茎数はそれぞれ平年並であった。葉数はそれぞれ平年比で0.1枚、0.1枚、0.3枚多かった。100本あたりの地上部乾物重はそれぞれ平年比121%、113%、114%であった。苗の充実度(地上部乾物重/草丈)はそれぞれ平年比123%、114%、114%であった。すなわち、苗の草丈および茎数は平年並で、乾物重および充実度は平年を上回った。

以上により、5月20日時点の作況は、平年並である。

項目	品種名・ 苗種	きらら397 中苗			ななつぼし 中苗			ゆめぴりか 中苗			そらゆき 中苗(参考)
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年
播種期	(月.日)	4.14	4.18	△ 4	4.14	4.18	△ 4	4.14	4.18	△ 4	4.14
移植期	(月.日)	5.20	5.20	0	5.20	5.20	0	5.20	5.20	0	5.20
幼穂形成期	(月.日)	7.06	7.03	3	7.02	7.01	1	7.03	7.02	1	7.03
止葉始	(月.日)	7.21	7.16	5	7.15	7.12	3	7.16	7.13	3	7.16
出穂期	(月.日)	8.03	7.28	6	8.01	7.26	6	8.01	7.26	6	8.02
成熟期	(月.日)	9.23	9.18	5	9.18	9.13	5	9.17	9.13	4	9.22
穂揃日数	(日)	6.0	6.2	△ 0.2	7.0	6.2	0.8	7.0	6.6	0.4	7.0
登熟日数	(日)	51	52	△ 1	48	49	△ 1	47	49	△ 2	51
生育日数	(日)	162	153	9	157	148	9	156	148	8	161
移植時地上部乾物重(g/100本)		2.52	2.09	0.43	2.38	2.10	0.28	2.35	2.07	0.28	2.49
草丈 (cm)	移植時	10.1	10.3	△ 0.2	10.5	10.6	△ 0.1	10.4	10.4	0.0	10.0
	6月20日	24.8	26.6	△ 1.8	26.4	28.8	△ 2.4	27.0	28.9	△ 1.9	31.1
	7月20日	57.6	64.9	△ 7.3	62.8	71.8	△ 9.0	65.6	72.1	△ 6.5	64.6
茎数 (移植時:本/個体) (その他:本/m <sup>2</sup> )	移植時	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	0.0	1.0
	6月20日	360	347	13	315	318	△ 3	373	350	23	338
	7月20日	895	793	102	848	758	90	898	835	63	890
主稈 葉数 (枚)	移植時	3.3	3.2	0.1	3.1	3.0	0.1	3.4	3.1	0.3	2.9
	6月20日	6.7	7.3	△ 0.6	6.5	7.1	△ 0.6	6.8	7.3	△ 0.5	6.3
	7月20日	10.8	10.9	△ 0.1	10.0	10.1	△ 0.1	10.2	10.5	△ 0.3	9.6
	止葉	11.0	10.9	0.1	10.0	10.2	△ 0.2	10.3	10.5	△ 0.2	9.6
稈長	(cm)	65.4	64.5	0.9	67.6	68.8	△ 1.2	66.6	67.2	△ 0.6	71.6
穂長	(cm)	16.1	16.7	△ 0.6	16.0	16.5	△ 0.5	16.4	17.0	△ 0.6	16.3
穂数	(本/m <sup>2</sup> )	828	702	126	773	703	70	838	759	79	838
一穂粒数	(粒)	45.9	47.3	△ 1.4	47.8	51.6	△ 3.8	39.0	43.0	△ 4.0	42.9
m <sup>2</sup> 当粒数	(百粒)	380	332	48	369	363	6	327	326	1	360
稔実歩合	(%)	96.1	91.5	4.6	96.5	91.4	5.1	96.2	91.2	5.0	97.3
登熟歩合	(%)	79.8	80.9	△ 1.1	83.5	81.8	1.7	83.2	76.6	6.6	79.8
籾摺歩合	(%)	76.0	76.5	△ 0.5	76.7	77.1	△ 0.4	73.4	74.6	△ 1.2	74.3
屑米歩合	(%)	8.3	6.8	1.5	7.7	5.7	2.0	10.4	8.3	2.1	9.5
千粒重	(g)	23.2	23.5	△ 0.3	22.2	22.7	△ 0.5	22.7	23.3	△ 0.6	23.4
わら重	(kg/a)	60.9	61.1	△ 0.2	63.2	63.3	△ 0.1	63.5	62.1	1.4	67.7
精粒重	(kg/a)	79.7	77.1	2.6	76.7	77.4	△ 0.7	77.1	74.3	2.8	83.6
精玄米重	(kg/a)	60.6	59.0	1.6	58.8	59.7	△ 0.9	56.6	55.4	1.2	62.1
収量平年比	(%)	103	100	3	98	100	△ 2	102	100	2	-
検査等級			1下	-		1下	-		1下	-	

注1) 平年値は前7ヶ年中、平成27年(最豊)、21年(最凶)を除く5ヶ年平均。

注2) 平成26年より「そらゆき」(中苗紙筒)の調査を開始した。

注3) 耕種概要

土 壤 : 細粒グライ土

施 肥 : 高度化成472全層施肥 N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>O=8.0-9.7-6.9 kg/10a

播 種 量 : 中苗紙筒=130cc/箱 栽植密度 : 30.0×13.3cm 25.0株/m<sup>2</sup> 4本植え

移植方法 : 手植え 反 復 : 2

注4) 刈り取り面積は一區4.00m<sup>2</sup>。精粒重、精玄米重は水分15%換算値。使用した篩目は1.90mm。

# 畑作の部

作物G(長沼町)

## I 気象概況

9月下旬：平均気温は平年より1.5℃高く、降水量は平年の43%、日照時間は平年の126%であり、高温、小雨、多照に経過した。

10月上旬：平均気温は平年より0.3℃低く、降水量は平年の74%、日照時間は平年の97%であり、少雨に経過した。

10月中旬：平均気温は平年より0.8℃低く、降水量は平年の101%、日照時間は平年の125%であり、多照に経過した。

以上、1ヶ月を通じ平均気温は平年より0.1℃高く、降水量は平年の71%、日照時間は平年の117%であり、小雨、多照に経過した。

9月下旬～10月中旬気象表

項目	9月下旬			10月上旬			10月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温(℃)	21.6	20.2	1.4	17.0	17.9	△0.9	14.8	15.6	△0.8	17.8	17.9	△0.1
最低気温(℃)	10.6	9.2	1.4	7.1	7.4	△0.3	3.6	4.8	△1.2	7.1	7.1	0.0
平均気温(℃)	15.9	14.4	1.5	12.0	12.3	△0.3	9.3	10.1	△0.8	12.4	12.3	0.1
降水量(mm)	14.0	32.5	△18.5	25.0	34.0	△9.0	29.0	28.7	0.3	68.0	95.2	△27.2
降水日数(日)	2.0	2.1	△0.1	5.0	2.8	2.2	5.0	3.5	1.5	12.0	8.4	3.6
日照時間(hr)	69.5	55.1	14.4	44.1	45.6	△1.5	57.2	45.9	11.3	170.8	146.6	24.2

注1) 気象データはマメダス中央農試本場。欠測値および明らかな異常値はアメダス長沼で補正。

注2) 平年値は過去10年間の平均値。

注3) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値。

注4) 降水日数は、24時間降水量が0.5mm以上をカウント

注5) △は減を示す。

## Ⅱ 作 況

### 1. 秋まき小麦(平成28年播種)

平成28年9月20日作況：平年並

事由：播種期は平年より6日早い9月13日で、安定した越冬のために必要な生育量の確保には問題のない播種時期である。

以上により、現在の作況は平年並である。

平成28年10月20日作況：平年並

事由：出芽は良好で出芽期は平年より8日早い9月20日であった。その後、9月下旬は高温、多照で推移したため生育は順調であった。10月20日現在で草丈は平年より長く、茎数も一部分げつが始まっているため平年を大きく上回り、越冬に必要な生育量は確保された。

項目 \ 年次	品種名	きたほなみ		
		本年	平年	比較
播種期	(H28.月.日)	9.13	9.19	△ 6
出芽期	(H28.月.日)	9.20	9.28	△ 8
出穂期	(H29.月.日)		6.7	
成熟期	(H29.月.日)		7.19	
冬損程度	(0:無～5:甚)		0.7	
草 丈 (cm)	H28.10.20	23.4	18.1	5.3
	H29.5.20		43.0	
	H29.6.20		97.5	
茎 数 (本/m <sup>2</sup> )	H28.10.20	1198	581	617
	越冬前(11月)		1198	
	越冬後(4月)		1809	
	H29.5.20		1322	
	H29.6.20		777	
成熟期に おける	稈長 (cm)		88	
	穂長 (cm)		8.8	
	穂数 (本/m <sup>2</sup> )		693	
倒伏程度	(0:無～5:甚)		0.4	
子実重	(kg/10a)		706	
容積重	(g/l)		808	
千粒重	(g)		38.1	
品質	(等級)		2等	
子実重平年対比 (%)			100	

注1) 平年値: 前7か年中、平成27年(最凶)、平成25年(最豊)を除く5か年平均(収穫年度)

注2) △は平年より早、短、少を表す。

注3) 倒伏程度: 成熟期における倒伏程度。

注4) 容積重はブラウエル穀粒計により測定した値。

## 2. 大豆

6月20日 やや不良

事由：播種期は平年より3日遅い5月24日で、出芽期も平年より3日遅かった。出芽後の6月上中旬は気温が低く、降水量が多かったため、生育が停滞し、主茎長は平年よりやや短く、主茎節数はやや少ない。

以上により、現在の作況はやや不良である。

7月20日 やや不良

事由：6月～7月上旬の気温が低く推移したため、生育は遅れており、開花期に達していない。主茎長は平年より短い。主茎節数は同程度で分枝数はやや多い。

以上により、現在の作況はやや不良である。

8月20日 やや良

事由：開花期は平年より8日遅かった。7月下旬以降、平均気温は平年並、日照時間は平年並～多く推移した。主茎長は平年より長く、主茎節数、分枝数および着莢数は平年よりやや多い。

以上により、現在の作況はやや良である。

9月20日 平年並

事由：主茎長は平年より長く、主茎節数は平年よりやや多い。分枝数、着莢数は平年並であった。

以上により、現在の作況は平年並である。

10月20日 平年並

事由：成熟期は平年より4日遅かった。着莢数と一莢内粒数が平年よりやや少なかったが、百粒重は平年並で、子実重は392kg/10aと平年対比98%であった。屑粒率は平年並であった。

以上により、現在の作況は平年並である。

品種名 項目 \ 年次		トヨムスメ		
		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.24	5.21	3
出芽期	(月.日)	6.6	6.3	3
開花期	(月.日)	7.22	7.14	8
成熟期	(月.日)	10.3	9.29	4
主茎長 (cm)	6月20日	9.9	11.7	△ 1.8
	7月20日	37.3	45.9	△ 8.6
	8月20日	63.2	52.0	11.2
	9月20日	63.2	52.2	11.0
	成熟期	64.4	51.8	12.6
主茎節数 (節)	6月20日	2.4	3.1	△ 0.7
	7月20日	9.2	9.5	△ 0.3
	8月20日	10.4	9.7	0.7
	9月20日	10.5	9.8	0.7
	成熟期	10.9	9.7	1.2
分枝数 (本/株)	7月20日	8.2	6.4	1.8
	8月20日	8.3	7.2	1.1
	9月20日	7.3	7.1	0.2
	成熟期	6.5	6.8	△ 0.3
着莢数 (莢/株)	8月20日	81.1	72.3	8.8
	9月20日	69.2	67.6	1.6
	成熟期	64.5	66.0	△ 1.5
一莢内粒数		1.68	1.88	△ 0.20
子実重	(kg/10a)	392	401	△ 9
百粒重	(g)	40.2	40.1	0.1
屑粒率	(%)	1.1	1.4	△ 0.3
品質	(等級)		3上	
子実重平年対比	(%)	98	100	△ 2

注) 平年値は前7カ年中、平成21年(最凶)、26年(最豊)を除く5カ年平均。

### 3. 小豆

6月20日作況：平年並

事由：播種期は平年より1日早い5月24日であった。6月上旬は低温で推移したが出芽は良好で、出芽期は平年より2日早い6月10日であった。6月20日現在で主茎長は平年より長く、主茎節数は平年よりやや少ない。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日作況：やや不良

事由：6月下旬から7月上旬の間の一時期が低温で経過したため、7月20日現在で主茎長は平年より9cm短く、主茎節数、分枝数は平年より少ない。

以上により、現在の作況はやや不良である。

8月20日作況：やや良

事由：開花期は平年より2日遅い7月24日であった。8月20日現在で主茎長は16.3cm長く、分枝数は少ないが、主茎節数、着莢数は平年を上回った。

以上により、現在の作況はやや良である。

9月20日作況：平年並

事由：成熟期は平年より7日遅い9月11日であった。9月20日現在で主茎長は長く、主茎節数はやや多かった。分枝数はやや少なかったが、着莢数は平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

10月20日作況：やや良

事由：着莢数、百粒重は平年並であったが、一莢内粒数が平年よりやや多かったため、子実重は平年対比105%とやや多収であった。屑粒率は平年より高かった。

以上により、現在の作況はやや良である。

品種名 項目 \ 年次		エリモシヨウズ		
		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.24	5.25	△ 1
出芽期	(月.日)	6.10	6.12	△ 2
開花期	(月.日)	7.24	7.22	2
成熟期	(月.日)	9.11	9.04	7
主茎長 (cm)	6月20日	4.0	3.4	0.6
	7月20日	14.9	24.1	△ 9.2
	8月20日	76.7	60.4	16.3
	成熟期	73.0	60.6	12.4
主茎節数 (節)	6月20日	1.2	1.4	△ 0.2
	7月20日	8.0	9.4	△ 1.4
	8月20日	15.5	13.7	1.8
	成熟期	15.6	13.7	1.9
分枝数 (本/株)	7月20日	2.3	3.6	△ 1.3
	8月20日	3.0	3.8	△ 0.8
	成熟期	3.1	3.8	△ 0.7
着莢数 (莢/株)	8月20日	63.8	55.1	8.7
	成熟期	52.4	52.5	△ 0.1
一莢内粒数		6.20	5.77	0.43
子実重	(kg/10a)	303	290	13
百粒重	(g)	12.6	12.4	0.2
屑粒率	(%)	7.6	3.1	4.5
品質	(等級)		3下	—
子実重平年対比	(%)	105	100	5

注) 平年値は前7カ年中、平成27年(最豊)、平成25年(最凶)を除く5カ年平均。